



第147号

1967-1-11

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第131回例会

本日のプログラム 映画 ロータリーについて

- ◆ 司会 飯田 会長
- ◆ ゲスト 高野 伊三郎氏(道警本部交通課長)
- ◆ ビジター 川端久雄君他4名(函館) 出村喜作君他6名(函館東)
- ◆ 会長挨拶

「ロータリーの友」1月号8頁の「よく働く歯車」と題するボチャード氏(岐阜南RC)の文章にうたれました。ロータリーのマークである歯車のキースロットのしくみについて説明があり、歯車の構造のこれらの重要な機械面それぞれの部分と、ロータリアンとしての我々に対するそれらの意味については完全な小論文が書かれるでしょうと述べています。私達もキーとなり歯車となつて、ロータリーの円滑な運動をすすめるため働きたいものです。

◆ 幹事報告

1. 例会終了後クラブの臨時総会を行ないますので全員お残り下さい。
〔臨時総会に於いて、拓銀駅前ビル落成の場合には例会場を同ビル内五島軒に変更する案を全員異議なく賛成可決しました。〕
2. 1月21日15時より五島軒で、函館ラサール高校のインターアクト・クラブのR.I.認証状伝達式を行ないます。出席義務者は次の方々です。
会長 副会長 幹事 インターアクト委員長 SAA 社会奉仕委員長 国際奉仕委員長 クラブ会報委員長 雑誌委員長

◆ ニコニコ箱

飯田会長 例会遅刻(大雪のため車が僅か3分遅れましたが) 金賞
◆ 第350区国際学生交換計画について 函館東RC 大妻康光氏
昨年9月にもパンフレットで御説明しましたが、一昨日滝本バスターガバナー(地区国際学生計画委員長)から、女子学生1名の受入れを道南でやつてほしいとの依頼が参りました。東クラブでは富田さんと三富さんの申し出があり、北クラブでもどなたか御協力をお願いします。滞在は一家庭2~3ヶ月のまわりもちとし、費用は1クラブで3~5万円出し、それに地区資金をプラスします。学校は遺愛高校ときまりました。

高野伊三郎氏

しづつ自由化しています。例えば銀行では利子をつけるようになった。そうになると国民は貯金を始める。金を貯めて別荘を建てる。山林を買う。個人の財産をふやし、少しでも楽な生活をしたいと願う。又冬でも競馬をやつていて、国民は馬券を買い熱狂している。旅行も自由に出来るようになった。鉄のカーテンを外したので、他国の派手な生活が目に入るようになったため、国民は承知しないのです。従来ソ連には祿なものがありませんでした。従つてソ連人は外国の物を非常に羨しがつています。又労働者も早平等ではなくなつてきました。ノルマは依然としてありますが、成績が良ければ金になるからです。

然し官僚的なところもあります。ソ連は国会議員優先です。私はウクナイホテルに泊りましたが、国会議員が来たら部屋を出されることになつていふことで、ビクビクでした。料理も国会議員だけ特に安くなつています。又道路には二本線があつて、中央部は偉い人だけが通ることになつていました。

一番困つているのは青少年問題のようでした。年とつた偉い連中は労働者から叩き上げたのが多いが、その息子や娘達は良い生活に馴れてしまつていふからです。彼等は外国を崇拜し、外人に近付いて良い物を貰おうとします。彼等が大きくなつたら一体どんな考えを持つでしょうか。

日本に対する評判は非常に良いようです。ミコヤンが日本を見て驚いて帰りましたが、その感想をテレビでやり、それが大きな反響を齎したようです。アメリカとの仲も良いようです。むしろ中国は、アメリカとソ連はぐるぐると言つています。アメリカとソ連が本確的に貿易を始めたら日本は勝てないと思いません。又中国では、日本はアメリカの基地である、佐藤内閣はダメ、自民党もダメ、ソ連も必ずしも共産主義ではないからけしからんと言つています。

統計でみると、日本が中国に対する貿易額が年6億ドル、ソ連とは4億ドルです。中国は日本から買わねばならないし、又売らねばならないのです。今後はソ連との伸びはあまり期待出来ないが、中国との貿易はまだまだ伸びるでしょう。函館にとつてみても、日産化学の肥料とか、函館ドックの船等はまだ伸びる余地がありそうです。

◆ 出席報告

1. 先週の確定出席率 75.86%
会員数29名 当日出席18名 メークアップ4名 計22名
2. 他クラブの状況 函館92.45% 函館東93.51%

○ 次回例会日は 1月18日です。是非出席を、そして当日出席出来ない方は必ずメーク・アップを心掛けて下さい。

卓話 “道南の交通安全” 高野 伊三郎 氏

昨年1年間の道南の交通事故による死傷者は1700人で、その75%は函館市と市近郊でした。事故を全減させることは不可能としても、私達は先ず死亡者を無くし、次に歩行者の被害を無くすることに目標をおき、私達で出来ない面を関係の方々に御協力をお願いしている次才です。死亡者は68名あり、うち12名は自損行為で、51.4%は歩行者でした。怪我も歩行者が多くて673名あり、全事故の41%を占め、全道平均の38%及び全国平均の33%を上回ります。従つて私達は重点的に歩行者の保護指導をやっております。一車両1000台当りの事故数は全国の38に対して道南は22、又人口1万当りの死傷者は全国の45に対して道南は28でした。然し道南でも年々20%宛車輛がふえていますから、今年は2000件の被害者が予想されます。

今年の交通行政で中央の方針として次のように内定しています。先ず単車に乗る者には必ずヘルメットをかぶせるようにします。ダンプカーは免許年令を18才から21才に引き上げ、経験を2年以上とします。道南の大型車の事故は520件でしたが、その殆どの450件はダンプ側に怪我無しか或いは軽微な怪我で、対手側により大きな被害を与えています。又国鉄との踏切安全委員会が出た話題に、ディーゼルカー1両ならダンプに負けるとありました。ダンプカーに乗ると自分はやられる心配が無く、お城に入っているような甚だ危険な優越感を持つそうです。なおダンプに対しては6m半以下の道路への乗入れ禁止又は時間制限、通学通勤道路、市場等への買物道路、繁華街への乗入れ制限をする等、色々研究し作業をすすめています。又法を改正し、横断歩道を渡ろうとする歩行者を認めて前の車が止つた場合、後の車がわからずに追い越す危険を避けるため、これをはつきり禁止する予定です。

更に今年の大きな問題として、従来交通事故は前科として戸籍にのりませんが、全国で2100万人の運転者がいる現在では、前科者が莫大な数になつてゆきます。従つてこれをやめ、別に反則金制度をつくり、郵便局等に反則金を納めれば前科にならないようにする方法が研究されています。

交通安全については皆様大いに御関心を持つていただいていることを感謝します。御気付きの点、御意見等あらばとどしどし御申し出下さい。

出席報告

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 本日の状況 | 会員数28名 出席22名 欠席6名 |
| 2. 前回の確定出席率 | 82.76% (29名中24名出席) |
| メークアップ | 市川君 |
| 欠席者 | 宮崎君 野村君 杉本君 高杉君 塚田君 |
| 3. 12月平均出席率 | 78.45% |



The Weekly report of Hakodate North R.C.

通算才148号

1950~1967-1-18

第132回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~1.3.0

- 司会 成田副会長 斉唱 手に手つないで
 ビジター 高橋六郎君(豊橋南 綱及擦糸製造)
 岡田小治君(土別 酒類販売)
 笹岡軍平君他8名(函館) 田沢繁吉君他3名(函館東)

成田副会長報告

今宮会員がこのたび東京本社に御栄転になりました。当クラブにとつて非常に寂しい反面、函チョンが解消し御栄転されるのは喜ばしいことです。

幹事報告

1. 例会終了後理事、職業分類及び会員選考の委員長さんはお残り下さい。
2. 久留米RCより「入社の手」の見本が来ました。1部30円です。
3. ビジターの高橋さんから豊橋南のバナーをいただきました。
4. 小岩さんの御餞別を募ります。袋を回しますのでお入れ願います。

退会挨拶

今宮 信雄 君

39年4月に着任し、早々に北クラブのチャーターメンバーに入れていただきました。30名で少ないと言われながらも、親睦の点では本当に良いクラブであつたと思いますし色々な仕事の方と接することが出来て実に楽しく、私にとつて末永い思い出になるでしょう。皆様どうぞ御健康にてクラブ発展のため御活躍下さるようお願いいたします。東京は大手町ビル6階に本社がありますので上京の節は是非お立ち寄り下さい。

スライド映写

“我等の雑誌 — 友愛の冒険”

(Our Magazine Adventure in Friendship)

シンガポールの近くにボンゴルという小さな村があります。その村は昔は非常に貧困でしたが、今は見違えるように良くなりました。何故でしょう。それは1953年のある日、162部の雑誌がシンガポールに送られたことに始まります。そのロータリアン達は先ず村にセンターをつくりました。それが学校になり、若人のクラブに発展し、村を良くするセンターとなつて活躍しました。雑誌には社会を良くするための有益な記事が沢山掲載されており、その記事がロータリアン達を刺戟したのでした。

かつてポール・ハリスが、自分の考えを会員に伝える道があれば、と述べました。そして事務総長と発行物の可能性について検討し、1916年1月に始めて“The National Rotarian”が発行されました。次いで